

ProMED-mai | 情報 2021年4月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

| 掲載日 | 表題 | 概要 |
|-----|----------------------------|---|
| 28日 | 黄熱 コンゴ民主共和国 | 2021年4月27日、1,630万人以上を対象に予防的黄熱ワクチン接種キャンペーンを開始。26州のうち7州で、約30万人の難民を含む生後9ヶ月から60歳を対象に実施。2003年に全国的な定期予防接種プログラムの一環として導入したが、実施率は約56%で、推奨される80%に満たない。 |
| 26日 | アフリカ豚コレラ (ASF) マレーシア | アフリカ豚コレラがサバ州の10の地区で確認。州の農水大臣は、2021年4月18日の時点で、合計169頭の野生のヒゲイノシシがASF陽性であることを確認したと発表。さらに398頭の飼われていた豚を殺処分し、535頭がこの病気のために死亡。 |
| 25日 | 狂犬病 パキスタン | シンド州サッタ市の男性が、地元の市民病院に狂犬病の曝露後予防(PEP)がなかったため、狂犬病で死亡。市民団体は、関係当局は犬咬傷に対して対策を講じていないと行政を非難し、改善を促した。 |
| 25日 | 麻疹 米国 | 2021年4月23日、コネチカット州公衆衛生局はフェアフィールド郡の子供に2例目の症例を確認。2019～2020年の調査では、州の生徒の96.2%が幼稚園への入園に際して2回のMMRワクチン接種を受けた。CDCは、すべての子供に2回接種を推奨。1回目は12～15月齢、2回目は4～6歳。 |
| 24日 | マラリア ブルキナファソ | ナノロ郡において生後5～17ヶ月の子供450人を対象に、二重盲検ランダム化比較試験を実施。マラリアシーズン前に4週間間隔で3回の接種を行い、1年後に4回目。ワクチンの安全性、免疫原性および有効性を評価したところ、1年後にも有効率は77%で、重篤な副反応は認めなかった。 |
| 22日 | 手足口病 オーストラリア | パースで手足口病が急増。手足や口腔内などに発疹や水疱を引き起こし、主に10歳未満の子供が感染するが、青年、まれに成人にも感染し、子供よりも重篤となることが多い。 |
| 21日 | ハンタウイルス感染症 米国 | 保健当局は、ナバホ族居留地におけるハンタウイルス肺症候群の今年1例目を確認。感染したげっ歯類の糞で広がり、まれに致命的となる。ウイルスの蔓延を防止するためげっ歯類の糞がある場所の換気と清掃を推奨。 |
| 19日 | インフルエンザ 米国 | 疾病管理予防センターは、ウィスコンシン州の18歳未満の子供に新しいインフルエンザA (H1N1) 変異体ウイルス感染を報告。患者は豚と直接接触していた。この症例においてヒトからヒトへの感染は確認されていない。 |
| 17日 | コレラ ナイジェリア | 少なくとも50人の死亡を地元の保健当局が確認。ナイジェリア疾病管理センターは、2021年3月28日の時点で、8つの州で50人の死亡（致死率2.9%）を含む合計1,746人の疑わしい症例を報告。 |
| 13日 | ラッサ熱 ナイジェリア | 13週目に新たに確認された症例は、12週目の7例から3例に減少。1週目～13週目までの累積死亡者数は49例、致死率は21%で、2020年同時期の19.5%よりも高い。主な年齢層は21～30歳で、男女比は1:0.9であった。 |
| 9日 | 黄熱 カナダ | カナダ熱帯医学・旅行に関する助言委員会 (CATMAT) は、ワクチン不足のため通常の1/5量で接種を実施した人は、黄熱ワクチンの接種が推奨または必要な地域に旅行する場合は再度、通常量の接種を行うよう推奨。 |
| 4日 | クリミア・コンゴ 出血熱 パキスタン | 2021年3月31日、カラチのサルジャーニタウンに住む25歳の青年に陽性を確認。カラチで今年2例目であり、青年は酪農関係者であるとのこと。ダニ媒介性ウイルス性疾患であり、主に動物から人間に感染する。 |
| 1日 | 鳥インフルエンザ (H5N3) 英国 | 2021年3月26日、七面鳥の飼育者に感染を確認。低病原性は高病原性よりも感染性が低くなるが、血清型H5およびH7は高病原性ウイルスに変異する可能性があるため注意が必要。低病原性の症状は軽度か、まったくの無症状であり、そのため鳥の一部の種では発見されないことがある。 |